

#### ■ラオス：ホンサ石炭火力発電所プロジェクト開発の合弁企業を3社共同で設立

タイの石炭採掘・発電大手のバンプー社（BANPU）は、ラオス西部ホンサ石炭火力の開発プロジェクトを実施する合弁企業を、3社の出資で設立したと発表した。出資企業は完全子会社のバンプーパワー（BPP）と、タイ政府系発電会社ラチャブリ・エレクトリシティー・ジェネレーティング（RATCH）、ラオス政府系のラオ・ホールディング・ステイト・エンタープライズ（LHSE）の3社。設立した合弁企業は2社から成り、発電事業を行うホンサパワー（HPC）と石炭鉱山開発を行うプーファイ・マイニング（PFMC）はそれぞれ事務所をビエンチャンに設置する。ホンサパワー社は資本金10万米ドルで出資比率はBPPが40%、RATCHが40%、LHSEが20%、プーファイ・マイニング社は資本金5万米ドルで、出資比率はBPP37.5%、RATCH37.5%、LHSE25%となっている。なお、同石炭火力発電所の設備容量は187.8万kWで、2013年の運開を予定している。